(日刊) 皇紀二千六百三年 昭和十八年八月二十七日 (金曜日) 京城日報 (市内版) (明治卅九年九月十八日第三種郵便物認可) 第一万二千八百七十六號

京城日報
朝刊
京城府中區太平通一丁目三十一番地 發行所 合資會社京城日報社
印刷兼發行編輯人 高仲 官野 太磨 平樹

わが在支空軍、縱横の活躍

大本營發表(八月廿六日十五時卅分) 支那方面わが航空部隊は八月廿四日萬縣及び宜昌西方三斗坪附近に進攻するとともに武漢地區に來襲せる敵機を邀撃せり狀況次の如し

船舶二を撃沈破

埠頭集積所 舟艇群を爆碎炎上

萬縣、三斗坪猛爆

一、萬縣の埠頭、軍需品集積所及び敵舟艇群を爆碎炎上せしめたり

二、三斗坪附近揚子江上の敵船舶を攻撃し、その一隻を撃沈二隻を撃破せり

來襲機十機を撃墜

武漢地區に邀撃

三、武漢地區に來襲せる敵機廿數機を邀撃しその十機(うち不確實二)を撃墜せり

四、わが方の損害 自爆及び未だ歸還せざるもの各一機なり

完膚なき迄の鐵槌

敵蠢動斷じて許さず

【東京電話】わが在支陸軍航空部隊は重慶、萬縣、零陵、桂林への集中爆撃に引續き廿四日も間髪を入れて萬縣及び三斗坪附近に進攻……なほ懲えぬ萬縣を急襲して埠頭および軍需品積所を爆碎してこれに大火災を生ぜしめるとゝもに、他の一隊は揚子江上の舟艇群を襲ひこれまた爆碎炎上せしめた、また……を同じうしてわが戰闘機隊は桂林零陵附近に敵を求めて進攻したが敵空軍はわが威力に恐れをなして奥地に遁走し遂に敵機と遭遇しなかつた

た、來襲と同時にわが戰闘機隊はこれを同地上空に邀撃して壯烈なる空中戰を交へ敵叶はじと見て遁走する敵機を遠く浦圻および通山南方の地區まで追撃、これを擊退したがこの空中戰においてわが方……

一畑總司令官歸寧

【南京廿六日同盟】支那派遣軍報道部發表(八月廿六日十四時) 畑總司令官は八月廿三日出發 漢口、應山、安慶方面を視察し廿五日歸寧せり

不落の巨機も微塵

粤漢線上に追撃激闘

【〇〇基地廿五日同盟】世界最優秀を誇るコンソリデーテッドB24もわが荒鷲の前には所詮敵ではなかつた、廿四日午後在支米空軍はまたもやコンソリデーテッドB24七機、カーチスP40十機の戰爆連合機、ノースアメリカンB25六機をもつて武漢地區に侵入を企圖したが逸早く邀撃に舞上つたわが隼戰闘機のため目的を果さず遁走、これを急追するわが荒鷲は粤漢線上空においてB24を捕捉し、こゝに廿分間にわたる激戰が展開され遂にB24七機中六機を撃墜、凱歌を奏げて〇〇基地に歸還したのであつた、以下は同日戰闘においてB24三機を撃墜した〇〇大尉の奮戰振りである

〝有力なる戰爆連合の敵機現は……る〟の報に〇〇大尉は機を逸せず〇〇基地を飛び立つた、このとき羽澤岩太郎曹長(北海道室蘭市)機は僚機より少しおくれて離陸、武漢上空に差かゝると前方二千メートルに大きな黒影が一つ二つ、七つ見える、まさしく米が不落を誇る空の巨機コンソリデーテッドB24に違ひない、曹長は敵機發見を味方に報らせるや翼を返して敵重爆群の左前方を突いて見た、左翼の敵機にのしかゝるやうにして一連射を浴びせた瞬間、敵機は右内側發動機から早くも白煙を噴いて高度を下げはじめた、高度四千五百から四千まで下つたときさらに二連射を加へると面白いやうに胴腹に命中、胴體全部火の海となつて戰列から離れた、しかし敵機は不死身のやうに依然として粤漢線沿ひに南下してゆく、超低空で逃げるつもりか高度を三千から一千、さらに五百に下げ、地上すれぐに喘ぎながら飛んでゆく〝糞ツ〟これでも落ちぬかと曹長機は敵機の眞後から喰ひつくやうに三連射を浴びせるとB24は遂に反轉して池の中へ火の……

となつて墜落した、一方羽澤曹長とほとんど同時に敵機を發見した〇〇大尉は隼のごとくB24に襲ひかゝり、羽澤曹長に攻撃をかけられたゝめ六機となつたB24編隊は爆撃を斷念して粤漢線沿ひに崇陽方面へ進路をかへた、尾崎中和……

……は敵コンソリデーテッドB24撃墜六機、カーチスホークP40戰闘機四機(うち不確實二)の計十機、自爆未歸還各一機といふ尊い犠牲を出した……の戰果をあげたが、わが方もまた……

倉皇ご遁走

廣東にも來襲

【廣東廿六日同盟】南支軍廿六日……十六時發表、廿六日十三時廿分頃……戰爆連合の在支米空軍十數機は廣東上空に來襲せるも、わが航空部隊の邀撃と地上の防空陣に阻まれ倉皇として遁走せり、我になんらの被害なし

敵巡洋艦一隻大破

海鷲ソロモンに奮迅 九戰闘機も撃墜

【南太平洋方面〇〇基地特電廿……】……廿三日未明サボ島附近において北……これに果敢なる雷撃を加へ巡洋艦……機隊は午前から午後にかけ前後……闘機と交戰、その九機を撃墜した

敵陣三ヶ所に火災

上陸用舟艇二を撃沈

【南太平洋……】……廿四日ムンダ附近の敵陣地……三隻を撃沈、敵陣地三ヶ所に火災……戰闘機と交戰、九機を撃墜し……のわが海鷲戰闘機隊は……ムンダ北方地區方面に移動し彼我……わが海鷲戰闘機隊は……攻撃を加へ上陸用舟艇……さらに襲ひかゝる敵……を出した

敵失二千三百餘

第三方面軍綜合戰果

【北京廿六日同盟】わが軍不斷の……に脱落の一途を辿りつつある……共産軍は食糧の獲得を狙つて……魯南地區の吳化文將軍麾下第……方面軍の駐屯地に進攻を企圖、……第百十五師政治委員蕭華が自ら同師の大兵力を率ゐて去る十一日より蠢動を開始したが、事前にこれを察知した第三方面軍は斷乎邀擊……吳化文將軍指揮下に一體となり各所に激戰を展開した

すなはち八月十五日沂水西北方四十キロ寺頭方面に侵入し來つた同師の二千を邀擊したが、第三方面軍各部隊は皇軍の協力下一蹴、魯南地區進攻の野望を斷つたのである、第三方面軍はその後も引續き滿々たる鬪志をもつて敵の動向を注視してゐるが、本年一月和平陣營參加以來魯南山系にあつて反共として和平救國の道を實踐し來つた吳化文部隊の團結と火と燃える掃共信念は今回の偉功となつて山東掃共戰史に燦たる一ページを加へたのである、なほ今次第三方面軍の共産軍邀擊作戰における本月十一日より十八日までの綜合戰果左の如し

一、敵遺棄死體二、二〇〇、捕虜一七五、小銃四七八、輕機五、手榴彈一、四三二、その他多數

英、東南アジヤ司令部設置

【リスボン廿五日同盟】ロンドン來電によれば英國政府は廿五日次の通り發表した

印度ならびにセーロン島を基地として日本軍に對する作戰を遂行するため別個に東南アジヤ司令部を設置するに決定した、英帝ジョージ六世は司令部の最高指揮官に海軍中將ルイス・マウントバッテンを任命した

遊擊戰企圖か

【リスボン廿五日同盟】反樞軸陣營はケベック宣言において太平洋ならびに東亞總反攻を殊更に強調、タイムス紙やヨークシャー・ポスト紙などは

東亞共榮圏が東亞の要塞化するに先立ち共榮圏內の補給連絡線を攪亂せねばならぬ

旨を指摘してゐるが今回東南アジヤ司令部を設置イギリス軍奇襲部隊司令ルイス・マウントバッテンを起用したのは專ら東南アジヤ水域における各島嶼においてパルチザン的遊擊戰法に出る意圖ではないかと見られる

伊ケベック會談を默殺

【ローマ廿五日同盟】イタリヤ政府筋では批評を差控へ、イタリヤ國民は常に變らぬ平靜さをもつて事態の展開を待つのみでイタリヤ政府は自國の權益を擁護するため戰爭を繼續し千餘年の傳統と文明の確保確信をもつてゐると言明した

赤軍戰車二百五十三臺擊破

【ベルリン廿六日同盟】ドイツ軍當局は東部戰線のドイツ軍が廿五日の戰闘で赤軍戰車二百五十三台を擊破した旨廿六日發表した

政府、內閣顧問懇談會

【東京電話】內閣顧問と政府との懇談會は廿六日午後一時廿分より首相官邸に開催、東條首相以下內閣々僚(山崎農相病氣缺席)ならびに結城、山下兩氏を除く六顧問出席、生產增強の具體策につき懇談を重ね同四時五十分散會した、次回は九月二日の豫定

財務諸準則統一協議會

【東京電話】企畫院では廿六日第十回財務諸準則統一協議會を開催、左の五準則を附議決定した、右各準則は速かに告示のうへ實施される豫定である

一、鑛山業原價計算準則

一、車輛製造工業原價計算準則

一、纖維製造工業原價計算準則

一、染料製造工業原價計算準則

一、窯業製品工業原價計算準則

妹澤氏學士院會員へ

【東京電話】地震研究所長妹澤克惟氏は今回帝國學士院會員を仰付けられ、廿五日文部省より發表された

消息

◇畑江吉之助氏(朝鮮有鑛族專務取締役)廿六日入城

戰時輸送に萬全策

鐵道防衛總本部等の三機構設置

……なほ同省では陸運機構整備のため同日附をもつて戰時陸運會議ならびに戰時陸運連絡會を設置する、すなはち同省では大東亞戰爭勃發直後省內に戰時陸運本部を設置し、本部會議ならびに連絡會議を開催し來つたのであるが、昨秋の簡素化以來その機能が不充分の恨みあり、かつ今回の鐵道防衛總本部の設置にともない空襲の場合を除く廣範かつ一般的なる戰時陸運に關する重要案件を審議決定し急速なる實施をはかるため今回この組織を設置することゝなつたものである、すなはち戰時陸運會議は大臣、次官、官房、監査室、鐵道監、本省局長、鐵道技術研究所長をもつて構成、毎週定例會議を開き戰時陸運の飛躍的強化をはかるものである

學閥の狹量を排す

東條首相 戰時下の大學に一矢

……總長會議に出席中の內田東大總長ほか九帝大總長を午前十一時半より首相官邸に招待、岡部文相、星野內閣書記官長以下內閣四長官、菊池文部次官など列席のうへ、種々懇談を遂げ午餐をともにして午後一時過ぎ散會した、席上東條首相は決戰下大學の使命達成に關し

一、一億國民の龜鑑たるべき人材の育成指導

一、學徒の教育錬成にはあらゆる創意と工夫をもつてせよ

一、學閥技術者の狹量などの弊風を速かに除去せよ

一、戰時的に頭を切替へよ

の四點に關し大學の在り方を強調國家要求に應ぜんことを強調した

科學動員へ完全なる礎石

總長會議終る

【東京電話】全國帝大總長會議第二日は廿六日午前九時文相官邸に開き、特に陸軍兵器行政本部長、海軍艦政本部長、技術院第一、二、三部長、企畫院……ら出席、……軍當局との隔意なき懇談を遂げ、午前十一時半より東條首相招待の午餐會に臨み首相、四長官と各總長との間に懇談が行はれた、午後は一時半から文相官邸で再開、思想問題に關する懇談協議に入り當局と各大學總長との間に隔意なき意見交換を遂げて同五時散會、二日間の會議を終へた今回の總長會議は重點を科學研究機關の緊急整備に置き、さきに決定した大學研究機關の綜合動員に對する當局の方針を徹底せしめるとゝもにその具體化方法につき各總長の意見を聽したのであつたが、總長側からは民間研究機關との緊密聯繫の必要が強調された、とくに大學の研究と民間の試作施設の統一を圖ること、研究方法を簡素強力化することなどが要望され今後の施策に寄與するところが多かつた

在支米空軍擊滅へ

整備完了、出動命令を待つ我が陸鷲

〇〇基地にて井上同盟特派員撮影=陸軍省檢閱濟

科學研究に有難き思召

高松宮殿下、帝大總長らに賜餐

……び大學における科學研究の狀況につき親しく御聽取遊ばされたが一同は光榮に恐懼感激、全員……努力を傾倒し以て思召に應へ奉らんことを期した次第であります

旭三陸軍技師 市原博士の餘榮

【東京電話】長き選りにおかせられては去る八月十九日新鋭戰車の……東北帝國大學教授市原通敏氏に對し次の如く行賞の御沙汰あらせられた旨廿六日當勵局ならびに陸軍省より發表された

旭三 陸軍技師兼東北帝大教授 市原通敏

【東京電話】陸軍兵器行政本部囑託としてわが軍事科學に多大の功績をあげた東北大教授市原通敏工學博士は陸軍軍用車輛用特殊緩衝裝置の研究を完成、去る八月十九日その實驗中事故のため惜しくも殉職されたが同博士の遺業は科學技術の名譽ある戰死とも稱すべきものであり、陸軍科學技術陣の重鎭として讚ふる功績あるものとしてとくに陸軍技師(高等官二等)に任用、廿六日內閣より左の通り發表された

東北帝大教授 市原通敏

任陸軍技師兼東北帝大教授 敍高等官二等(八月十九日附)

社說 執拗なる敵に對する途

約二ケ月前ニユージョージヤ島に展開された敵米國の反攻以來、八月十四日には更にベララベラ島に上陸を企圖する等、爾來わが海陸の精鋭は、壞滅的な熾烈なる激擊を繰返してこれを殲滅しつゝあつたが、廿五日の大本營發表は、南太平洋方面の戰局が愈々熾烈の度を加へ來つたことを報じてゐる。即ちその字句を見ても、敵のビロア上陸以後『執拗に兵力增强に努めつゝあり』またわが皇軍が『敵兵力增强の阻止、潰滅に努めつゝある傍ら『兩島附近の上空及び海上において連日晝夜の別なく敵と交戰し、大なる打擊を與へをれるも敵反攻の勢ひは侮り難きものあり』と極めて激烈なる字句を以つて指摘してゐる點がそれである。われらはこれによつても本年初頭以來の敵の對反攻期間の諸情勢、わけてもアリユーシヤンからソロモン、ニユーギニヤ、ビルマ、支那に亘るいはゆる對日第一包圍陣を次第に壓縮して、わが本土に向つて決定打を叩き込まんと狙ひつゝある敵總反攻の意圖を如實に窺ひ知ることが出來るのである。

然し敵のこの反攻は、所詮物的優勢を恃んでのことであり、その一千億弗と稱する戰費にしても、英、ソ聯、重慶、北阿、西亞、印度、濠洲等にまで振向ける分を含んでゐるのであつて、對日反攻には精々その三割程度であると見る時、現にわが國の有する實力を正確に認識することによつて、敵の數字的誇張に眩惑される必要は毫もないのである。

さるにても『執拗』なる『敵反攻の勢ひ』の『侮り難き』ことが眞實である以上、われは敵に倍する總力態勢を發揮して、一切を戰爭のための生產力增强に結集し、また他を顧みぬ精進の生活に徹すべきことを、今こそ痛切に覺悟しつゝ邁進せねばならぬ。

邑面制の刷新に期待

內地に於ける大政翼贊會、朝鮮に於ける總力聯盟に見られる如く、國民組織の體制は今日一應完璧に近いものに整備され、この確立せる機構を通じての所謂國民運動も上下一體、諸國一致の結束の下に文字通り一億總進軍の步調を揃へるまでになつたが、この國民組織の活動と並行すべき地方の末端行政が依然として、決戰體制に逆行するが如き狀態にあつたことは何人も否めないところであらう。この行政指導力の貧困が戰力增强と國民生活の安定といふ戰爭の至上命令に對してどれほど大きな障礙となつてゐたかは說明するまでもあるまい。特に朝鮮に於ける邑面の實情を見るときに、その感を深くするのであるが、今回邑面制の全面的刷新に對する總督府の積極的企圖が明かにされ、末端行政の擴充强化が行はれんとしてゐることは、われらの大いに意を强うするところである。

發表された邑面行政刷新要綱によると人的機構の整備擴充、事務の刷新、邑面財政の强化の三項がその骨子となつてゐるが、もとよりこれに異論のあるべきはずはなく、これさへ間違ひなく實行に移されゝばこの成果は蓋し大いに期して待つべきものがあらう。既に一部實現しつゝある大物主義の面長なども今後は積極的に考慮さるべきであらうし、有爲有能の民間人を思ひ切つて簡拔、或は有能官吏の勇敢なる登用といつたことも勿論贊成である。事務の改善刷新、財政の强化確立といつた機構、施設の戰時編成も大いに必要であらう。しかし何といつても行政を運營するものは人である。目まぐるしいほど國民が受取らねばならぬ戰時重要施策、或は朝鮮の行くべき途の道標ともいふべき統理の方針は之を咀嚼し、これを消化されることなくして、一般國民大衆の肚には收まりかねるのである。これが消化機關が邑面であり、末端行政機關の役割である。總督府の通牒や示達事項がその印刷物の複寫のまゝ民衆に强ひられるやうでは大衆は消化不良に陷つて了ふ。從つて統理方針が間違ひなく民衆に徹底し、戰時施策が誤りなく民衆の協力を得るためには少くともその統理方針を眞に理解し、その戰時施策を十二分に咀嚼し得るほどの人が末端行政の責任者にをらねばならず、更に自己の責任に於いてこれを活用し、指導して實力性ある邁擧推進力をもつほどのものが第一線指導者になければならないのである。さういふ意味に於いて、この末端行政の刷新といふことは結局人の問題に歸着する。われらの希つて已まぬのはただ一つこの人を得るといふことである。

送れば必ず届く 抑留同胞に書籍を送れ

丸山鶴吉氏熱意を語る

【東京電話】今回の交換船帝亞丸就航に當つて敵國在留同胞對策委員會と日本赤十字社の斡旋で北米、カナダおよびハワイ在留邦人へお茶、醬油、味噌、乾燥、藥品、本など故國の香ばしい品物を托送、決戰下敵國にあつて種々の不便に耐へてゐる我が同胞への慰問激勵が試みられるこれに關し同委員會事務總長丸山鶴吉氏は東京麹町大阪ビル內の同會事務所で廿六日午前十一時半左の談話を發表した

今回の交換船で歸國出來る同胞は現在約六十萬の敵國在留同胞に對し僅か千五百餘名程度に過ぎず未だ歸國出來ぬ同胞が絕對多數として殘るわけだ、昨年來創設された當委員會、日本赤十字社と協力在留邦人から懇望の書籍を初め種々多數の慰問激勵品を送るがすでに醬油一萬樽、味噌一萬貫、茶五萬斤、尺八、鳴笛、ハーモニカなど樂器類一千點、碁盤、將棋板などの娛樂品五百組、藥品約二萬圓、宗教、趣味、娛樂、藝術關係の書籍約一萬冊を用意することが出來た、なほ書籍については當方で直接蒐集したもの以外に私が去る十八日放送したラジオを聞いて一般から贈つていたゞいた二千冊、各種團體から寄贈された五、六百冊これに現在キリスト教諸團體各協會から寄贈されるものを加へると近く約一萬五六千冊にのぼる見込みであるが敵國在留邦人は何よりも書籍に飢ゑてゐるから今後も全國一般の篤志家の援助を得たい

ついで申上げれば當會の今回の費用は東京、大阪、大連など諸大都市のと、市町から大口の寄附があつたが何をいつても敵國在留邦人の數は六十萬にのぼりさらにこれら同胞中には僅草錢にもこと缺くものや强制移住をされて衞生、教育、居住など改善を必要とするものもあるので多數の災害同胞を出してゐる廣島、和歌山などの縣は勿論關東地方からは關東大震災の際義捐金に對するお禮の意味も含めまた全國各方面からの絕大な る援助を仰ぎ出來れば三、四百萬圓の醵金を得たいと思つてる次第である

また去年の交換船で送つた金品の例について言へば赤十字社國際委員の斡旋で非常によく配られアメリカにおける我が利益代表スペイン駐米大使の談によるとシカゴ方面に主としてドイツ人を收容してある收容所に唯一人ゐた日本人迄內地から送られたお茶を飮んでゐたのを發見したといふ實例がある位で發送するものは全部有效適切に配給されるものとみて敵國に送るとはいへこの點だけは安心して各方面に應分の御援助をお願ひして よいと思ふ

開墾は內地より先

朝鮮農地營團事業進捗

食糧增產への劃期的方途として本春發足した朝鮮農地開發營團は本年度事業たる富平ほか八地區(含計劃利面積四萬五千二百五十九町步)の開發につき資材缺乏の惡條件を克服、着々工事を進めてゐるが七月末現在の工事出來形は

咸南新高山の三二%を筆頭に慶南東面六%、京畿富平五%、慶北金烏山、黃海康翎が何れも四%、黃海安信一%で平南並に咸南永興は目下工事用機械資具の搬入及び動力施設中である

一方、委託工事たる豐德ほか六地區は既に竣成、都西、直城が一〇〇%、論山九九%、德山九〇%、咸平六三%の出來形を示し何れも稔りの秋を謳歌してゐる、たゞ順川のみが一九%であるがこれは着工が遲れたゝめで大體に順調な進捗狀態にある、なほ當營團では大藏省よりの資金借入及び內務省への事業遂行狀況報告のため先般來、渡邊理事長、飯島事業部長が東上中であつたが飯島氏は廿六日歸任、次の如く語つた

內地の營團が發足以來未だ開墾一割にしか達しないのに對して朝鮮の進捗狀況が順調であるといふことは內地の營團の行き方に重大な示唆を與へたやうで恐らく內地も方針を變更するのではないかと思ふ、何分にも食糧增產は緊急を要する問題であるので、なるべく早く效果を齎らすやうな行き方でなければ駄目だ、さういふ意味で大藏省も非常な理解を示し來年一月頃發行豫定の社債發行までの繫ぎ資金として一千三百萬圓の低利資金を融通して呉れたが、必要とあれば更に融通して貰へることになつてゐる

官民名士に依賴

重要鑛物非常增產督勵

九月一日からの重要鑛物非常增產週間期間に當り鑛山聯盟では次の諸氏に同期間中重要鑛山の增產督勵に出張方依賴することゝなつた

朝鮮聯盟波田事務局總長、岡田中樞院參議、總督府鑛山監督官、石田朝鮮石炭社長、金川鐘新社長、軍司令部淸水參謀海軍武官、官府松本大佐、荻原鑛振社長、西本麟山社長、人見朝鮮飛鐵旅社長、高濱朝鮮石炭統制部長、林殖銀頭取、山家城大理學部長、大森鑛專校長、大串仁川陸軍造兵廠長高宮本社社長

海陸運を一元

山田鐵道局長談

【下關電話】滿京約一週間に亘つて大陸との物資輸送强化に關してその確保を圖るため各方面と打合せつゝあつた山田鐵道局長はその要務を終へ廿六日朝下關を通過歸任の途についたが次の如く語つた

決戰下に於ける大陸と內地を結ぶ物資輸送の擴充强化に就ては一日もおろそかに出來ないのは云ふまでもない、これに關して鮮鐵の擔ふ任務も重大であるから我等は常在戰場の覺悟をもつてこれが完遂に邁進せねばならないと努力しつゝある、この意味に於て今週中に朝鮮運送と各航運會社を合同し强力なる海陸運送業の一元化を實現する筈である、これによつて鮮內は勿論大陸と內地間の物資の交流を圓滑化するとになればその效果たるや莫大なものであると信じてゐる

北鮮水力電

電業が吸收合併

北鮮水力電氣(資本金一億圓四分一拂込)は今次發送電統合により發電會社朝鮮電業にその設備を買收統合されることになつてゐるが設備買收は朝鮮電力、南鮮水力、鴨江水力、江界水力の四社のみとし、北鮮水力のみは電業が吸收合併することになつた

而して合併による電業の資本金增加は行はず、北水の債務を電業が肩替りすることになつてをり、本月卅一日の北水臨時總會で正式決定の段取りである

住友通信工業社債發行

【東京電話】興銀では廿五日住友通信工業第一回イ號擔保附社債一千萬圓の募集條件(四分……

東京證券會社

東株代行會社改稱

【東京電話】東株代行會社では從來取引が愈々八月末限り廢止となるので從來の營業目的を變更すると同時に東京證券株式會社と改稱し、日證東京支所取引委員として新發足することゝなり、二十五日午前十時より臨時株主總會を開催定款變更による新業務を左のごとく決定した

一、端數株の賣買

一、清算取引に對する地方よりの注文受託

一、東京支所管下の株式名義書換手續の斡旋

なほ同社は總會終了後、直ちに認可の申請を許可したが、九月一日より新業務開始の豫定である

日本火藥臨時總會

帝國山川製藥を吸收合併

【大阪電話】日本火藥(資本金一千萬圓、全額拂込濟)は聯務合社帝國染料(資本金五百萬圓)および山川製藥の兩社を吸收合併することになり、廿八日三社それぞれ本社に臨時總會を開き右合併案を附議承認のうへ正式認可を申請する條件は帝國染料に對しては一對一山川製藥は六對一、合併期日は十二月一日、なほ日本火藥は右合併により資本金五百二十七萬圓を增……

資材を要求

角永電氣課長談

【東京電話】遞信局角永電氣課長は事務打合のため去る十四日上京以來關係方面と折衝中のところ、廿五日歸任の途についたが歸任を前に次の如く語つた

今回の用件の第一は發電資材の增加方の要求であつた、卽ち本年度物動計畫の第三、四半期以……

日本蠶糸製造會社

委託工場接收開始

【東京電話】日本蠶糸製造會社では逐に特定事業綱を決定、各蠶糸業者に會社事業の代行を委託するところあつたがこの程設立諸準備の完了と相俟つて各工場の接收を開始した、而して短纖維工場……

朝鮮資源研究所

滿蒙毛織が設置開放

現代騎兵は裝備に重點

軍事

第一次大戰に戰車、裝甲自動車が現はれる迄の騎兵は、その華々しい機動力によつて、軍の花形と讃歎され、軍人になるなら騎兵に限ると迄でいつて憧れるものがあつた、成吉思汗の歐洲遠征も騎兵集團が大擧押寄る敵を蹴散らし活躍した功によれば こそ成つた偉業である、またロシヤのコザツク騎兵が長槍をもつて敵集團を急襲する光景等、騎兵の勇壯さを物語るものとして喝采されたが、然し科學の進步による戰車、機械化部隊の出現で騎兵の使命も漸次變つて來た、現代騎兵は昔の長槍、大刀を揮へて敵中へ躍り込むのを使命とせず、機關銃、騎砲を裝備して火力の增强を圖り、いま迄のや……

機械化した騎兵

時事小解

決戰下における國家の綜合經濟增强を圖るため、物資交易の統制運營を行ふと共に、重要物資の貯藏確保を目的とする交易營團(資本金三億圓のうち政府出資二億五千萬圓、殘りは民間出資)は、當初の理想と相當の開きはあつたが、とにかく曲りなりにも實現をみた、同營團は一、物資の輸出、輸入、買入及び賣渡二、重要物資の保管三、前各號の業務に附帶する業務などを運營することになつてをり、その地域と重要物資の範圍は政府が命令をもつて定めるのである、同營團の實現に伴ひ半島の現交易機構を如何に變革するか—卽ち內地交易營團の分團乃至支部を朝鮮に設置するか、又は半島獨自の特殊交易統制機關を設けるかについては、關係方面より多大の注目が拂はれてをり、就て總督府當局においてもこの機構變革について研究立案中のところ、この程對圓域輸出入調整機關たる朝鮮東亞貿易會社(資本金五百萬圓)と第三國向輸出入調整機關たる朝鮮貿易振興會社(資本金三百萬圓)を合併して新たに準營團的特殊會社朝鮮交易統制會社(假稱)を設置することに根……

半島の交易機構

特殊鑛增產を現地に視る

海の仇を山で討て

掲げる壁に山本元帥像

戰局は今や鬼畜米英必死の反攻により極めて緊迫化した、一機でも一艦でも、より多くの兵器を前線に送らねばならぬ、そしてそれには、先づ原材料としての重要鑛物が確保されねばならぬ、さればわが朝鮮においても內地に呼應し九、十兩月を重要鑛物非常增產强調期間として官民擧げて增產へ突進する、併し決戰下の增產は何處も同じ隘路の連續である、これが打開克服なくして現實の增產はあり得ない、記者は特に本期間を前にした準備期間に四ケ所の特殊鑛々山を訪うて鑛山戰士の敢鬪ぶりと共に增產の對策を現地に見聞することを得たので、それをこゝに報告しやう【寫眞—小林達城鑛山索道】

達城鑛山の卷

一ツ我ら皇國臣民は……
我ら皇國臣民は……
忍苦鍛錬力を養ひ……

澄んだ山の朝の大氣を裂いて高らかな皇國臣民の誓詞が四邊の山に谺する

鑛山戰士が、今入坑前の朝會の一ときである、こゝは大邱から大川に沿ふて遡ぼること十二キロ、タングステン鑛山として全鮮著名の小林鑛業達城鑛山である、昭和六年以來、金山として開發され、國際情勢の變化に伴ひ非常時鑛物……

地下足袋

浮游選鑛

こんな病氣の方へ

【東京電話】大東亞戰の勝敗の決が科學技術戰の優劣に關ることは各方面から均しく認められてゐるところであるが、わが陸軍科學技術陣の一翼にあつて重要な研究に從つてゐた東北帝大教授市原通敏博士は去る八月十九日不幸研究試驗の犧牲となつて殉職した、博士は數年前から軍用車輛用特殊地金の理論的研究並に車輛用特殊緩衝裝置の研究に從事してゐたが、この研究を陸軍の兵器に利用し大なる效果をあげ得ることが判り當時陸軍技術本部から東北帝國大學に研究を委託し、專ら同博士を主任として理論的研究が進められるとゝもに博士はその後陸軍技術

皇軍に齎す〝偉大な戰力〟

東北大の市原博士兵器試驗に殉職

あゝ科學陣の〝軍神〟

死の際に〝研究完成を賴む〟

本部囑託として陸軍の研究に參與し軍用車輛用特殊緩衝裝置の研究に努力した、かくて特殊緩衝裝置の研究は逐次進捗いよく完成を見たので去る八月十六日からこれを實際に軍の車輛に取付け野外試驗のため同博士も直接參加し試驗期間を通じ四日間にわたる試驗部隊と行動を俱にした

寫眞＝兵器研究に殉職した市原通敏博士（上）と遺子未亡人

博士が殉職した今回の試驗運轉は博士の研究にかかる特殊緩衝裝置を軍用車輛の一部にとりつけ去る十八日早朝東京から三島に向つて開始された、第一日目は全車輛好成績のうちに夕刻三島へついたが博士は遙々仙台から三島までかけつけ部隊の到着を俟つて直ちに第一日の試驗成績の報告をうけ夕食もとらずに深夜十二時まで種々數示しその夜は部隊とともに御殿場まで進行、こゝで假眠、第二日目に御殿場を出て十里木峠を無事に越えたら軍用車輛としては申分ない方も大概なもので博士以下一同の張切りといふので辛うじて車に摑まつて來る程の道路で途中故障を起した試驗車輛以外の調整なども手傳ひ日沒後やうやく富士宮についた、この晩も夕食もとらずに研究に沒頭結果を持ち寄つて研究會を開く眞劍さであつた第三日目は富士宮から富士山を西へ廻り縱坂を越える豫定であつたが、西富士附近で殿車でさへも通れぬほどの難路のため博士は道路直しまで手傳ひ泥にまみれて行軍、夜おそく御殿場についた、後で考へればその晩が最後であつたのだが試驗成績の整理をしてゐる一同の傍で何くれとなく敎示し研究會の席上では質問にでもてきぱきと明答を與へた

試驗の最終日十九日は御殿場から東京へ歸るだけなので關係者一同は博士に汽車で歸るやう勸めたが博士の熱烈な研究心はこれを退けて部隊と共に自動貨車で出發途中試驗車輛に乘換へ大

山街道を經て午前十一時卅分長津田の手前約二キロの地に差しかゝつた、この附近は山中で道路が兩側の畦原より三メートルも高くつくられてゐるところであるが、約十五分の一の下り坂のカーブの中間に來たと思はれる時突如博士の乘つてゐた車輛は道路上から畦原に顚覆不幸博士は車の下敷になり直ちに試驗主任の井上少佐以下が駈けつけ介抱した上、長津田の醫院で假手當を加へたがその途中博士はどことどこが痛いとはつきり訴へ唇を嚙んで痛さをこらへ顏色には餘り苦痛を現はさなかつた

が、同十九日試驗最終日不幸殉職したのである、同博士の研究はいまだ例を見ざる優秀な研究であつてこれが軍用車輛に應用され、戰力向上に資することになればその效果は頗る大きくその功績は永遠に皇軍の力の上に一大威力となつて精彩を放つことであらう

市原博士未亡人談

市原博士の家庭は遺子夫人（三五）と仙台第一中二年生敏之（一三）國民學校六年生勇子（一二）同四年生眞子（一〇）三枝子（七）さんら一男三女があるが仙台市米ケ袋島上町の自宅で遺子未亡人は『科學に生き科學に死んだ夫はさぞかし本望でせう』と雄々しくも科學者の妻としての感懷を語つた

明朗な性格

直ちに相模原の陸軍病院に移したが意識は頗る明瞭で私事に關しては一切ふれず苦しい息の中からただ『研究を完成して下さい』と述べ、それが直ちに遺言となつたわけで、博士は科學技術者の眞面目を最後まで顯示してゐたのである、陸軍病院に到着した時はすでに出血甚だしく約一時間ののち午後一時四十分四十五歲を一期として惜しくもこの世を去つたのであつた

殉職した市原博士こそはまこと陸軍科學技術陣の軍神とも稱さるべきであらう、市原博士の人となりは質實なる學者肌といふやうな風格ではなくむしろ明るい瀟洒な運動家氣質とでもいふべき趣味を多分に備へてゐる

スキーもやれば庭球もやり、社交家で誰に對しても公私共に親身になつて世話するといふ思ひやりの深い人であつた、每年卒業期に學生が論文を書くため各人思ひ／＼の教授につくが何時も市原博士の研究室に多數の學生が集つてゐたといふことも博士の人柄を偲ぶに相應しい插話であらう、元來博士は機械方面の出であるが物理冶金や材料にも造詣深く講座としては工作法材料工作學、機械工作學を擔當してゐた、機械方面では金屬試驗器で市原式（ヒステログラフ）を發明、物理冶金方面では金屬（クリーク）試驗器や世界に類例のない繰返歪試驗器を完成してゐる

ことに市原式ヒステログラフは軍は劣勢な材料も自から試驗しなければならずこの特色は試驗には必ず一度はこれを使用しなければならずこの特色は我國の各研究所、工場はもとより一般民間會社でも材料の疲勞試驗には必ず一度はこれを使用中すなはち機械運轉中に材料に加はる力が目で見えるのでこれをいろいろ換へることが出來るといふ裝置があり、さらに世界最初といはれる大型機を仙台の工場に製作中であつた、博士が親切なの

と我が科學陣の權威であつたためその研究室にはたくさんの會社から卒業生は勿論未知の技士が派遣されて教へを請うてゐた、軍の囑託となつてからは忙しい體でありながら每月必ず二回は上京して研究結果を逐次報告し陸軍科學技術陣に大きな貢獻をしてゐた、今回の試驗に際しても多忙な身をわざ／＼試驗第一日目の夕刻三島まで馳せ參じて作業衣姿で參加し關係者一同の制止もかへんせず自ら陣頭に起つて試驗運轉に從事調整に連日夜遲くまで努力を眠はず獻身した態度は關係者一同深く感銘してゐる、死の直前まで『是非この研究を完成して戰爭に勝つて下さい』といひ續けたとのことであるが博士こそは陸軍科學技術陣の軍神であり、その殉職は將兵の名譽ある戰死と同等異るところはない、敵米英に完勝するためにはすべての點において戰線銃後共にまさることが必要であるが、市原博士の後に續く

初の陸軍行政本部葬

陸軍では市原博士生前の功に酬い合せてわが科學技術陣の奮起を促し博士の殉職を重なる研究途上の死に終らせないため初の陸軍兵器行政本部葬として同部技術部長小池國英中將を葬儀委員長に二十八日午後一時から靑山齋場で神式により執

行、同二時から三時まで告別式を營むが二十七日午後七時から牛込區河田町の同本部に遺骨を安置し前夜祭を行ふ、なほ博士の遺骨は二十九日午前十時上野驛發仙台市米ケ袋島の自宅に向ふ

國家の大損失

兵器行政本部長　木村中將語る

今や科學技術者に對する期待頗る大なるものある時、市原博士の如き有能の士を失つたことは單に陸軍としてのみならず國家として大いなる損失でかへす／＼も遺憾に存ずる、顧つて考へるにこの大東亞戰爭完遂のため國家の有する科學技術の總力を結集し、これを速に戰力化せしめることは時局下最も喫緊のことである、市原博士は夙に今日かくあるべきを洞察し軍の兵器研究に挺身せられその優秀にして貴重なる研究は軍の兵器進步に寄與せらるゝところ頗る大なるものがあつて、その殉職は正に科學技術戰における名譽ある戰死であり同時に科學技術總動員の最も強調せられてゐる今日科學技術者の進路を身をもつて示されたもので博士もまたもつて瞑すべきであらう、聞くは我が國の全科學技術者が市原博士の殉職を契機として一層奮起され米英擊滅の一途に邁進せられんことを希望して已まない

ものの多數を擁してゐる我が國としては質と人とも既に敵を壓倒して居るものといふべく、又市原博士の殉職を契機として科學技術陣は著しく振興され優秀科學兵器が造られて行くものと信じて疑はない

歌へ銃後の〝軍歌〟

全鮮各地に指導隊を派遣

第二回國民歌唱

總力聯盟ではさきに第一回國民歌唱運動を展開、全鮮に亘つて六十八萬八千四百四十名の受講者を得豫期以上の好成績を擧げたが、さらに國際情勢を鑑へ健全明朗な國民歌曲を選びその歌曲を通じていよ／＼決戰下國民の士氣昂揚につとむべく朝鮮音樂協會と共催、總督府後援のもとに來る九月から十一月に至る三ケ月間に亘り〝第二回國民歌唱運動〟を全鮮に繰展げることになつた、これに先立ち廿六日午後一時半から聯盟事務局會議室で大場勇之助、玄山濟明、吉澤實、宮本吉雄、池田勝重、朴泰鉉諸氏等の音樂教育關係者、聯盟側から寺本文化、西山宣傳両課長等を初め關係各方面から廿餘名參席して實施に關する協議會を開き種々意見の開陳を行つた結果指導歌唱の決定は小委員會附託となし指導隊派遣地域は次のやうに決定した

北鮮（春川、鐵原、元山、咸興、興南、北靑、城津、羅津、淸津）▲中鮮（大田、全州、群山、光州、木浦）▲西鮮（開城、海州、鎭南浦、平壤、定州、新義州、安州、江界）▲南鮮（天安、淸州、金泉、大邱、安東、釜山、鎭海、馬山、晋州、順天、麗水）

京城府職員の修鍊

京城府職員修鍊部第一期修鍊員卅六名は、千田總務部長引率のもとに廿八日夜京城驛發、內金剛の聖域に於て練成を擧行、九月一日歸鄕の豫定である

徒步鍊成會

京城府體育會で

京城府體育會實行團では廿九日午前八時半から徒步鍊成會を擧行することになつた、定刻、往十里終點に集合、四キロ行軍ののち纛島遊園地に至り正午頃自由解散する

京城府は大會當日に大いに府民の參加を求めてゐる、なほ大會第二日の劈頭午前九時から政務總監訓話も行はれることになつたので即時全鮮道、府、邑會議員にそれ／＼通達するやう大會事務局に依賴し同十一時閉會した

青年學校に併置して九月一日開所式擧行の筈であるが、國民學校卒業以上の學歷あるものは內地青年同樣一斉入學させると共に錬成所生徒も軍事教練は青年學校生徒と同時に實施して內鮮相携へて醜の御楯たるの素質の向上錬成につとめたいと府當局では望んでゐる

總力聯盟の第二回國民歌唱運動協議會

慰問袋募集

【晋州】府では徵兵制實施感謝慰兵慰問袋を府內各町里聯盟を通じて廿五日から向ふ一ケ月間千五百箇を募集するが、死鬪を續けてゐる前線將兵のひと時の慰安の爲慰問袋はお互が眞心をこめて送つて貰ひたいと府當局では望んでゐる

幽玄の旋律に醉ふ

平壤で空前の盛況

武藏野音樂學校大演奏會

【平壤電話】我國樂壇の輝く權威として音樂藝術を通じて決戰下の國民錬成に大きな寄與をなしつゝある東京武藏野音樂學校の大演奏會は廿六日夜七時から柳都の人氣をあつめ金千代座においてその樂壇的精華の幕を開けた

定刻國民儀禮を行ひ立錐の餘地もなく會場を埋めた大聽衆の拍手に迎へられて福井直弘氏總指揮の下に第一部から開演、混聲合唱に續いて向坂福美子嬢のテノール獨奏、山本龍藏君のテノール獨唱と曲目の進行するにつれ全聽衆は恍惚と聽き入りかくて滿場この幽玄にして力強い日本的藝術境に心魂を洗はれ更にまた明日の銃後奉公に新たな活力をあたへ空前の盛況裡に同九時過ぎ閉會した

一行は今二十七日入城、京城における演奏の豪華版はいよ／＼本社主催のもとに廿八、廿九の兩日府民館で催されるが前賣切符の賣行物凄く當日の盛會を豫約するものゝ如くである

半島學徒を錬成

初の官廳奉職者へ試み

【東京電話】半島學生に對して開かれた登龍門——今年から初めて試みられた內地各省への半島出身者採用は既に有資格者十二名無資格者百一名が決定し卒業試驗も終つて目下『何時でも』と待機してゐるが朝鮮奬學會ではこれ等卒業生に對し據職の責任上なほ一層の錬成を行ひ將來有爲の官吏たらしめるべく來る九月三日から十二日及び廿三日より廿九日の二回に分けて都下三鷹町の大東亞省興亞錬成所仙川道場に中央官廳奉職者錬成會を開くことゝなつた、卽ち今回の錬成は維新の大道を通じて皇國精神を昂揚し職域奉公上不動の信念を把握せしむべく、殷、黑田第二次總裁委員は廿六日午前九時の精神的訓練を行ふ外官吏服務規律解說、用字例解說、公文起案、實務實習、文錬習、批判等官吏としての常識を與へることになつてゐる

更に十名採用

【東京電話】半島出身專門大學卒業生に對し中央官廳採用は先の有資格者無資格者を通じて百十三名を決定したが、この外內閣恩給局の希望により更に廿九日無資格者十名追加採用することとなつた

全鮮公職大會

日程きまる

徵兵制實施に感謝し皇に仇敵擊滅の決意を宣揚する全鮮公職大會の

大東亞文學者大會の二日目

堂々・決意述ぶ半島

津田氏ら三氏活躍

【東京電話】廿六日大東亞會館で開催の大東亞文學者大會第二日目に於いて半島を代表して兪鎭午氏は『決戰文學の理念確立について』崔載瑞氏は『徵兵制と朝鮮に於ける文學運動』と題してそれ／＼發言を行ひ大東亞文學に於ける半島文學の立場とその目標を明かにし、津田剛氏また『大東亞文學者總蹶起』に關する提案をなし全會場に多大の感銘を與へたが、この日の發言者廿四名中朝鮮は實に三名を占める活躍ぶりで文學を通ずる大東亞戰爭完遂、大東亞共榮圈建設に對する半島の壯なる使命と確固たる決意を强調し大東亞精地域を打つて一丸とする決戰文學運動において朝鮮文學會が極めて重要なる役割を持つことを遺憾なく闡明し且各地域代表にこの點を充分に徹底せしめた、三氏の發言內容は次の通り

兪鎭午氏

大東亞戰爭は愈々決戰段階に入つたが前線銃後一體となつて敵陣營に邁進しなければならんこの際われ／＼文化部面を擔當するものは心の持ち方卽ち精神の置き方を明確にせねばならんが永年全世界を風靡した米英流思想の根柢をなす『我』と闘ひ、これを叩き伏せて東洋本來の偉大なる『和』の精神、一口にいへばわが日本に於ける最も純粹なる形に於いて保持され且つ最高度にまで發展せしめられたる東洋の道德の精神に立ち還らねばならない、この戰爭に勝つことを離れて文學も文化もない、文學史上主義の如きは米英流の思想に外ならない、決戰文學の目標は戰に勝つと

いふ一點にあると思ふ、朝鮮は古來大陸文化を自己のものとなすと同時に內地に傳へる、いはば橋梁のやうな役割を果して來たのであるが今や逆に皇國日本の一翼として日本の精神および文化をアジヤの全地域に傳へる使命の一端を擔ふに至つたと確信する、この確信は實に本年八月から實施された徵兵制に由來するもので既往の內鮮間の問題は徵兵制實施を以て終止符が打たれたといふも過言でない、最近朝鮮の文化運動が徵兵制を轉機として頗る淸新活潑の發相を見して來たことを各地域の方々にお傳へ出來ることは自分としても大いに喜びとするところである

崔載瑞氏

比較的强きヨーロッパ文學の影響の下にあつた朝鮮文學が大東亞戰爭勃發と同時に自由主義文學との決裂を決意し日本的世界觀に立ち還つたことは當然のことゝはいへ劃期的な事柄であつた、しかしこれにも增して深刻なる影響を與へたものは、なんといつても徵兵制の實現である、徵兵制が與へた第一の影響は多年の歷史を有する諺文で書かれた諺文文學が國語文學へ轉換せんとしつゝあることで、その第二は個々の作家の世界觀、人生態度に決定的の變化を及ぼしたといふことである、自分はこれを祖國觀念の把握と呼んでゐる、從來朝鮮の智識階級は根本的になにかが缺けてゐた、いはば車の軸が拔けていたゝめに腹の底からこみ上げて來る情熱を以て全人格的前進が出來ないといつた狀態であつたが、徵兵制の實施により自己の智と命を以て國土を防衞するといふことが現實の事實として現はれ朝鮮の文學者の胸に澎然として祖國觀念が湧上つて來たのである、朝鮮の文學は最早朝鮮のみを基礎とする狹い文學ではない、これは二千七百萬の皇國民を迎へた一億國民のための否アジヤ民族十億のための文學であるとはつきり申上げることが出來る

津田剛氏

大東亞戰爭の決戰段階に臨んで文化運動も決戰體制化し、これを戰略化して米英擊滅に邁進しなければならんアジヤの全文化人は一人殘らず蹶起すべき秋である、本來ならば、全東亞を通じて恒久的に組織と方法とを持つ文化團體を樹立せねばならんが、差當つての方策として自分は次の案を提案したい、卽ち、來る十二月八日の大詔奉戴日は各地域の文學作家は各地域每に作家大會を開催、各地域相互に代表者を派遣して戰時意識の昂揚に努めるやうにしたい、例へば朝鮮に於いては滿洲、華北などよりも代表者の派遣を求めるが如き方法を取るもので、日本文學報國會より參加代表を派遣するのも又一案であらう、二、十二月八日後の定期刊行物は、轉載、記念號を發行して戰ふ文學を揭載して米英擊滅の知識を闡明したい

なほ津田氏の提案に對して顧長榮氏より贊成意見の開陳があつた

大東亞文學賞

初の受賞者けふ發表

【東京電話】大東亞共榮圈に在住する作家の雄渾なる作品に對して授賞される第一回大東亞文學賞は詮衡委員會の手によつて愼重詮衡を進めてゐるが第一回分には正式受賞に該當する作品がなく南方共榮圈は審査期日の關係その他で選に入りぬので結局日本、滿洲、中華民國三國の作家數名が次賞の形式で賞を受けることになつた、なほ第一回受賞者の氏名作品名は廿七日午後の大東亞文學者大會の席上正式發表される

敵執拗の交戰

重爆擊隊の河野大尉談

【〇〇基地廿五日同盟】廿四日再度武漢方面に來襲した戰爆連合廿數機の米空軍を好餌御座んなれと邀擊し敵が自慢の四發重爆コンソリデーテッドB24を擊墜した河野浩助大尉（大分縣出身）は

俺が落したのではない、爆擊機といふ奴は重機で攻擊してもなかなか落ちるものではなく皆で入れ代り立ち代り攻擊したから落ちたのだ

と少しも功を誇る樣子はないが、それでも溫顏に微笑を湛へて奮戰の模樣を左の如く語つた

最初昔で前の方から攻擊をかけて見たが手應へなく敵は頑强に射つて出るので反轉して第二編隊の外側部から攻擊をかけると一機が編隊を離脫したので、なほ心喰ひ下つて射ちまくると機首から白い煙を吹いて高度を下げ機體がふら／＼と見る間に今度は胴體から眞白な火を噴き出し忽ち紅蓮の焰に包まれ、機首を上方に引上げるとつゞいて機首をぐつと下に向け火の玉となつて眞つ逆樣に水田の中に突つ込んで行つた、しかも火を吹く砲筒の中で彈丸を射ちつゞける執拗な應戰ぶりがわが機上からよく見えた

東童の一行

本社を訪問

映畫『風の又三郎』で名演技を謳はれた兒童劇團中心の異色劇團『東童』一行四十餘名はこの度初來鮮、少國民文化の普及を目的に今日から廿八日まで城內で名作『ピノチオ』『虎彥龍彥』を公演する、が本社に來訪の富澤博氏は代表して次の如く語つた

東童の團員は過半數が國民學校の生徒で少國民劇に對する熱情と純眞な精神の發揮をねらつて眞劍に練磨してゐます

永井社會課長次男死去 永井總督府社會課長次男洋武ちやん（三）は廿六日午後六時急逝、廿七日午後五時から鍾路區內需町官舍で佛式により告別式を執行

本社寄託獻金

——二十六日扱——

國防獻金

【陸軍】二百圓 仁川公立商業學校職員生徒一同▲百圓 京城府西大門區義州通二丁目一六京城府果小賣商組合▲三十四圓八十八錢 仁川府大和町第一町會第一區班員一同▲三十圓 仁川府花町第一町會第一區班員一同▲七圓七十五錢 仁川府大和町第一町會第一區金石趙氏

【海軍】二百圓 仁川公立商業學校職員生徒一同▲百圓 京城府西大門區義州通二丁目一六京城府果小賣商組合

小計 六百六十二圓六十三錢

恤兵金

【陸軍】▲二百圓 仁川公立商業學校職員生徒一同▲十七圓六十七錢 仁川府大和町第一町會第三區鄰保班員一同▲三圓二十五錢 京畿道廣州郡九川公立國民學校兒童遁村部落分團

【海軍】▲百三十七圓四十錢 仁川府闘與町四六八田中工業株式會社醫療部一同▲十七圓六十七錢 仁川府大和町第一町會第三區鄰保班員一同▲三圓二十六錢 京畿道廣州郡九川公立國民學校兒童遁村部落分團▲一圓 仁川府闘與町田中工業株式會社醫療部橋本氏

小計 三百八十圓二十五錢

累計 國防獻金九十三萬六千五百三十九圓十四錢、恤兵金二十萬五千九百四十二圓六十一錢

總合計 百十九萬二千四百八十一圓七十五錢

急特 話題

☆……〝儲けてやらう〟の私利私慾も法網には勝てない、近く檢事局へ送られるといふ藥屋さんの馬鹿に出來ぬ大詐欺——

☆……つひこの間まで新聞に雜誌に誇大な宣傳で人氣を呼んでゐた鍾路區堅志町東興藥品會社製品〇〇丸は時流に投じてもの凄い賣行を示したが

☆……戰時下果して廣告のやうに藥品資材があることは一寸臭いと目をつけたのが東大門署經濟係で忽ち同會社責任者を引致嚴烈な取調べを行つた結果、藥材の入手難につけ込んで昭和十五年以來インチキ〇〇丸を調製したとあつさり白狀、しかもこれで七十七萬除圓也の濡手で粟の不正利得を貪つてゐた

☆……藥九層倍とはよく言つたもの、同署では近く送局の運びとなつた

夕刊 京城日報

日米居留民〈第二回〉交換
十月中旬マルマゴン港で實施
『帝亞丸』近く本邦出帆

【東京電話】日米間の外交官、官吏その他在留民の第一回交換は昨年七月廿三日アフリカのロレンソマルケスにおいて行はれたが引續き米國その他米洲諸國との第二回居留民交換に關しわが利益代表國たるスペイン、スイス、スエーデン、ポルトガルの各政府の仲介により交渉中のところこのほど交渉が成立、チリーにある外交官全部その他北中南米諸國にある一般在留民の一部計一千五百名と帝國、中國、香港、佛領印度、支那國、中國及びフイリツピンにある米國官吏、チリー國官吏及び米洲諸國の一般在留民の一部約一千五百名との交換を十月中旬印度のポルトガル領ゴアのマルマゴン港において行ふことに決定した、わが方の交換船は帝亞丸（一萬七千五百卅トン）であり、九月中旬本邦を出帆、マルマゴンに向ふが米國側の交換船は昨年と同じくスエーデン船グリツプスホルム號で九月上旬米國港を出帆の豫定である

今回の交換船によつて歸朝するのは第一回交換後に我國と斷交したチリー國にある帝國外交官山縣清公使、陸軍武官平島治遠中佐、海軍武官中山定義少佐以下館員九名および館員家族九名その他米國をはじめとして米洲諸國に在留する學生、國際商社の支店長、社員など在留邦人の一部であり、他方帝亞丸に便乘してマルマゴンに向ふ敵國人はチリー駐日公使アルマンド・ラブラ・カルベハルほか館員フイリツピンに在留する米外交官その他在留民である

なほ交換船帝亞丸が歸朝者を乘せて内地に歸還するのは十一月中旬の豫定である、右につき外務當局は廿六日午前十一時卅分別項の如き當局談を發表した

【東京電話】第二次日米居留民交換實施に關する外務當局談（八月二十六日午前十一時三十分）帝國と米國及びその他の米洲諸國との間の第二回居留民の交換に關しては客年第一回交換後關係利益代表國たるスペイン國、スイス國、スウエーデン國、ポルトガル國各政府の斡旋により交渉し來れるが、最近交渉進捗近くチリーにある帝國の官吏全部ならびに米洲諸國にある一般在留民の一部計約一千五百名と帝國、滿洲國、中華民國、香港、泰國、佛領印度支那及びフイリツピンにある米國官吏、チリー國官吏及び米洲諸國一般在留民の一部計約一千五百名との交換をポルトガル國政府の好意により印度のポルトガル領ゴアのマルマゴン港において實施することを期待し得るに至れり、我方の交換船は帝亞丸にして九月中旬本邦出帆マルマゴンに向ふべく、他方米國側交換船はスウエーデン船グリツプスホルム號にして九月上旬米國港を出帆、十月中旬マルマゴンにおいて交換の實施を見るべき豫定なり、なほ日英間第二次居留民交換については英國政府との間に關係利益代表國を通じ折角交渉中なり

米側でも發表

【ブエノスアイレス廿五日同盟】ワシントン來電＝米國國務次官サムナー・ウエルズは廿五日次の通り言明した

日米兩國抑留者の交換に關する交渉は順調に進捗してをり、日本政府ならびにその盟邦からグリツプスホルム號の安導權を近く得られると思つてゐる、兩國抑留民の交換は十月中旬にポルトガル領インドのゴアにあるマルマゴンで行はれよう

在智邦人近くゴアへ

【ブエノスアイレス廿五日同盟】サンチヤゴ來電＝チリー政府は廿五日次の通り發表した

チリー駐在日本外交官ならびに在留邦人は數日内にアルゼンチン船リオ・デ・ラプラタ號でブエノスアイレスに行き交換船グリツプスホルム號でゴアに向ふ豫定である

日米交換の地『ゴア』
歷史的由緒の挿話地

【東京電話】ゴアに日歐交渉嚆矢の地日米交換地に指定されたポルトガル領ゴアのマルマゴンは印度半島の西岸マドンナ河の三角洲上の舊都市で附近一帶の面積約一千四百平方哩に上る地域がポルトガル領ゴアである、喜望峰を廻航して印度西海岸に足跡を印した最初のヨーロッパ人は有名なポルトガル人ヴアスコ・ダ・ガマで西暦一四九八年のことであつた爾來ポルトガルはオランダとゝもに印度への歐洲人侵入の先驅をなし一五一〇年にゴアを占據しその東洋經營の根據地とし間もなく植民地を建設し次第に印度各地に勢ひを張り、オランダと覇を爭つたが十七世紀に入つて後進の英佛に押され一七五七年プラッシーの戰役により英に制覇され僅かに前記三植民地だけが殘つたわけである、マルマゴンの港はポルトガルの全盛時代には一時人口二、三十萬を擁して繁榮を誇つたが、その後漸次衰へ總督府もパンヂン（ノヴア・ゴア）に移され其外港となり今日では昔日の面影もなく人口僅か二萬三千に充たず荒廢してゐる、しかしポルトガル領ゴアは地味豐饒で農業が盛で、椰子、コプラ、魚、マンガンなどのほかに鹽業も盛んで年産約一萬數千トンを數へ、いるしかしわれ〳〵いのはこのゴアと諸國との交通の地であり、す交通があつた、南方外交史の中田豐氏に訊秀吉時代南蠻は大閤このゴ指したことは『ガアーブスヨーロッパのりして官人を變地なり、で南蠻人と申すなり』とつきます、ゴ式修交使節がの時代即ち天ドン・ドワル…した時ですから…ざつと三百七…い挿話を殘らしたといふことは…實際嬉しいことです

敵艦船三隻擊破
伊空軍、地中海で奮迅

【ローマ廿五日同盟】イタリア軍司令部廿五日正午發表

一、イタリア空軍は地中海中部で海軍艦艇および空軍の有力な掩護を受けてゐる敵護送船團を攻擊、大型驅逐艦一隻を雷擊炎上させたほか貨物船二隻合計一萬五千トンを大破した

一、反樞軸空軍は廿四日ナポリおよびサレルノ地方に來襲した

反樞軸船四隻擊沈破

【ベルリン廿五日同盟】ドイツ軍當局は廿五日次の通り發表した

ドイツ軍快速艇隊は廿四日シチリヤ島アウグスク港沖合の反樞軸船團を攻擊、戰鬪機群ならびに熾烈な高射砲火を冒し八千トン級貨物船一隻に直擊彈を浴びせて擊沈したほか他の三隻を大破炎上させた

赤軍戰車二百六十三臺擊破

【ベルリン廿五日同盟】獨軍當局は廿四日東部戰線へドイツ軍が赤軍戰車二百六十三臺を擊破した旨廿五日發表した

對日大反攻の企圖
英、カナダ領に基地新設か

【リスボン廿五日同盟】ニユーヨーク・タイムス紙のケベツク特派員はさらに英國の主力艦數隻がすでに太平洋にあり、反樞軸軍は日本帝國の主要後方線に對し『近い將來大規模の海軍並に空軍による攻擊』を企圖するであらうと報道してゐる

東部戰線の重點
ドンバス地區に移る

【ストツクホルム廿五日同盟】東部戰線における戰局の重點は獨軍のハリコフ撤收によつて直ちにドンバス地區に移動、イジユーム南方からスターリノ南方に至る五十キロの人口極めて稠密な地域で、廿四日以來空前の大機動戰が展開されてゐる、赤軍の楔は…方向に分れ一はイジユーム南方ラピヤンスクからサマラ河上流…鐵道要衝パヴログラードに向ひ、二はウオロシーロフグラード方からドニエプロトロフスク…ガンロク鐵道の要衝クラスノ…メイスコエを目指し、第三の…スターリノ東南方のドネツコ…アムヴロシエフカからスター…

ケベツク特派員によれば、英國首相チヤーチルはケベツク會談に際し、特にカナダ領北太平洋の基地使用に關しカナダ首相マツケンジー・キングと協議したと傳へられるが、オブザー…

獨善主義のお題目
ルーズベルト　カナダ議會で氣焰

【ブエノスアイレス廿五日同盟】米國大統領ルーズベルトはケベツク會談を終へて廿五日オツタワに到着、午後一時からカナダ議會に臨み所謂四つの自由確立につきいつもながらのお題目を並べた、但し演說の内容はカナダ人に對する御世辭と全體主義に對する誹謗と空疎且つ獨り好がりの理想論の範圍を出でず内容は全く子供騙しに過ぎない、ケベツク來電によれば大統領の演說要旨次の通り

五年前の金曜日には貴國においりクイーン大學の名譽學位を授與されたが當時すなはちドイツ軍のポーランド進駐に先立つ一ケ年、貴殊攻擊に先立つ三ケ年以前に余は米洲以外の紛爭が米洲人に對して何らの關心をも呼び起さず、また何らの危害をも加へないだらうと述べた、しかしながら米洲の尨大な武裝資源と米洲商業力と米洲人の力とは米洲人が好むと否とに拘らず米洲を世界平和の必要な要素となすに至つた

ルーズベルトは所謂非交戰の態度によつて歐洲戰爭の開始以來事實上獨伊兩國軍に對し戰爭行爲に從事し、さらに大東亞戰爭の開始に先立ちあらゆる物資の日本向け輸出を禁止し、最後には所謂資金凍…

會談の結論については申上げる自由を持たないがケベツク會談の秘密な情報を日獨伊三國に對し彼らが諒解する唯一の言葉で戰場において傳達するであらうといふだけで一切言明せず

ケベツク會談においては今回の戰爭における共同目的と出來るだけ短期間に勝利を實現する決意について建設的に協議した』

席しない點については得意の煙…り政策で一切觸れてゐない、また會談の結果についても

と大見得を切つてゐる、最後に大西洋憲章の四つの自由についてし…

日本攻擊は空襲に主力
ケベツク會談、米英の作戰計畫

【ブエノスアイレス廿五日同盟】ケベツク來電＝ロイター通信社のケベツク特派員ピトイアンは、同會談で決定された米英の作戰計畫を綜合して、廿五日次の通り報道してゐる

▲戰略　對獨攻擊は歐洲本土に對する爆擊を强化し、爆擊の效果充分と認められる時期に上陸作戰を敢行する、對日攻擊も激化するが、當初は空軍による攻擊を主とする

▲政略　英米兩國は歐洲獨軍占領地帶に對する將來の政治工作に關し方針を決定し、今後ソ聯と軍事および政治上の會議を開催してソ聯の協力を求めることとなつた、なほ英米兩國は歐洲亡命諸政權とも對歐洲政治工作に關し協議を進めてゐる

遠藤喜一中將ら參內

【東京電話】洋上第一線に輝く武勳を樹て、このほど歸還した海軍中將遠藤喜一、海軍少將秋山勝三同小森軍治の三提督ならびに榮の感狀に輝く潛水艦艦長の海軍少佐は廿六日朝相次いで宮中に參內、畏くも天皇陛下には午前十時表御座所に出御、まづ遠藤中將に拜謁仰せつけられ、同中將は恭しく御前に參進、嶋田海相、永野軍令部總長侍立のうへ在任中の軍狀を奏上申上ぐれば陛下には親しく御嘉賞の御言葉を賜ひ厚くその勞を慰はせられた、ついで秋山、小森兩少將ならびに田邊少佐にも親しく拜謁仰せつけられ天機麗はしく入御、遠藤中將はさらに御內儀において皇后陛下に拜謁仰せつけられ、さらに一同は南溜ノ間に參進、祝酒を拜受、御紋菓に恐懼宮中を退下した

なほ畏き邊りでは御慰勞の思召をもつて遠藤中將には御紋附の木杯一組ならびに金一封を、秋山、小森兩少將には御紋附木杯一組をそれ〴〵下賜あらせられた

二年ぶりの重慶進攻
覆滅命令に部下達もにつこり
親鷲〇〇部隊長語る

【〇〇基地廿四日同盟】去る七月下旬在支米空軍擊滅の火蓋を切つたわが陸軍航空部隊は連日にわたる猛擊に米空軍基地を徹底的に蹂躪し去つたが不屈の鬪志に燃えるわが荒鷲はさらに廿三日紺を四川の上空に轉じ重慶空軍の本據重慶ならびに要衝萬縣に殺到、航空施設および軍事施設を完膚なきまで（に爆碎）重慶上空においては小癪にも邀擊せんとする敵P43、P66、P40など十數機と壯烈なる空中戰を演じその八機を擊墜、わが方も未歸還一機の尊い犧牲を出したが以下は同日の爆擊行に參加した親鷲〇〇部隊長の談である

〇〇隊は重慶航空施設を徹底的に覆滅せよ、この命令を部下に傳達した時、日焼した部下達はみな眞白い齒を出してにつこりした、無理もない、去る昭和十六年八月の攻擊を最後として實に二ケ年大東亞戰爭勃發してから今回が最初の重慶進攻である、わが飛行機の重慶は北方から重慶西北地區に向ひ、攻擊隊は揚子江の流れに沿ひ…

重慶には、現在P40、P43、P66の戰鬪機をはじめA29の爆擊機を合せ百數十機の勢力を有してゐるらしいが、米空軍擊滅に意氣いよ〳〵盛んなわが荒鷲にとつては物の數ではない、滿々たる鬪志を孕んだ荒鷲は廿三日〇時〇分勇躍基地の砂を蹴つて發つた、絕好の爆擊日和である

案外脆い敵
荒鷲に『空中戰』を訊く

【〇〇基地廿四日同盟】…

この時一齊に敵高射砲彈の…前後左右に炸裂した、相當な砲火だ、しかし爆擊隊は一糸亂さず爆擊コースに…隊伍を…上空には友軍戰鬪機が勇猛と…われを掩護してゐる、一つ、二つ、三つと巨彈は敵軍事施設に…吸ひ込まれるやうに投下され…ふと見ると爆擊隊の左右…より灰色の敵戰鬪機四機が…

重慶の地位加重
ヌーヤ嚇し文句を列ぶ

漁業用撚糸　漁網
最高販賣價格を改正

チヤーチル放送

ウエルズ辭職確定か

憲兵司令官に大木中將

大木中將略歷

マイスキー氏テヘラン到着

總督府發令

消息